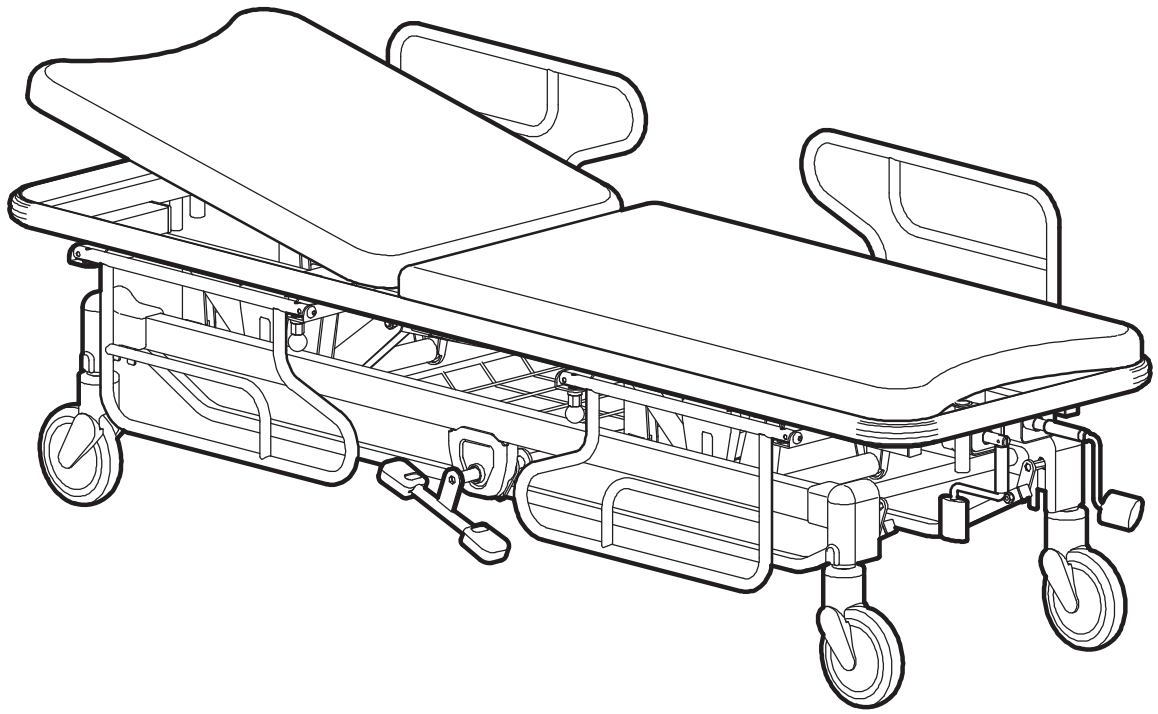
廃盤

Seahonence Bed™

SS-542TM
ハイローギャッチ ストレッチャー

取扱説明書



ハイローギャッチストレッチャーを正しくお使いいただくためにシーホネンスからのお願い

このたびは、ハイローギャッチストレッチャー【SS-542TM】をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●この取扱説明書にはご使用上の注意事項や操作方法が記載されています。

●ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いください。

●お読みなった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

●ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にお問合せください。

シーホネンス株式会社

もくじ

はじめに
必ずお読みください

安全にお使いいただくために …… 2〜4
■表示と絵表示について …… 2
■警告内容について …… 3
■警告および注意内容について …… 4
各部の名称 …… 5

とにかく
使ってみる

操作（動作）のしかた …… 6〜8
■クランクハンドルについて …… 6
■サイドガードの使用方法 …… 7
■酸素ボンベホルダーの使用方法 …… 7
■IVポールの取り付け …… 8
■IVポールの収納方法 …… 8
トータルロックキャスターについて …… 9
■トータルロックキャスターの位置 …… 9
■トータルロックキャスターの操作方法 …… 9

もし
必要なとき

日常のお手入れ …… 10
故障かな?と思ったら …… 10
仕様 …… 11
アフターサービスについて …… 12

安全にお使いいただくために

必ずお読みください

必ずご使用前に『**安全にお使いいただくために**』をよくお読みになり正しくお使いください。
製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が命にかかわるけがを負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
〔絵表示の例〕 感電注意	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図中の中に具体的な注意内容（左の図の場合には『感電注意』）が描かれています。
分解禁止	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には『分解禁止』）が描かれています。

ハイローギャッチストレッチャーのご使用時には、下記の項目の『警告』および『禁止』を必ずお読みください。
注）表記中の(p※)は参照先ページを示しています。

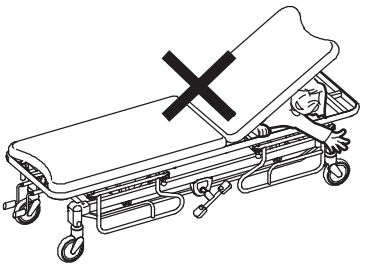
■警告ラベルについて(p2)
■警告内容について(p3～p4)
■注意内容について(p4)

⚠ 警 告 以下の項目は、全て危険行為ですので必ず注意事項を守って下さい。
守らなければ人が生命にかかわるけがを負う可能性が想定されます。

●ハイローギャッチストレッチャーの中やフレームの間にもぐりこまない

警 告

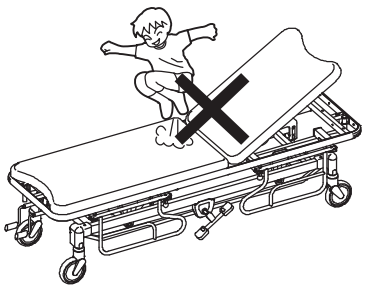
ハイローギャッチストレッチャーの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドガードとの間に頭や腕や足を挟むとケガの原因となります。ハイローギャッチストレッチャーの中にもぐり込んだりハイローギャッチストレッチャーの中に頭、腕、足などを入れないこと。ハイローギャッチストレッチャーの下や周りに障害物がないか確認して操作してください。



●踏み台代わりにしたり、ハイローギャッチストレッチャーの上で飛び跳ねない

警 告

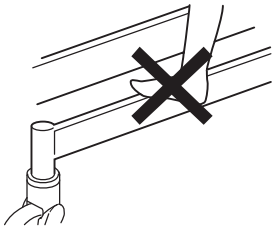
ハイローギャッチストレッチャーからの転落、転倒してケガの原因となります。
特にお子さまにご注意ください。



●足先をベースフレームの上や下に置かない

警 告

足先を挟んでケガの原因となります。
ベースフレームの上に足をかけたり、足先をベースフレームの下に置いたりしないでください。



●症状にあわせて使用してください

警 告

医師以外の方が直接ハイローギャッチストレッチャーを操作される場合は、医師から症状にあった使用方法について十分説明をうけたうえでご使用ください。
症状によっては、ハイローギャッチストレッチャーの操作が症状を悪化させる場合があります。

●乳幼児には使用しないでください

警 告

事故、ケガの原因となります。
このハイローギャッチストレッチャーは、大人用の設計になっています。
乳幼児が使用しますとサイドガード等のすきまに挟まったり、すきまから転落する可能性がありますので絶対に使用しないでください。

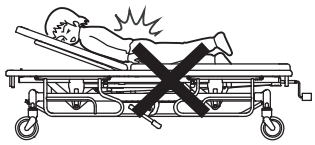
安全にお使いいただくために

⚠ 警 告 以下の項目は、危険行為ですので必ず注意事項を守って下さい。
守らなければ人が生命にかかわるケガを負う可能性が想定されます。

●うつ伏せで背上げ操作をしない

警　告

事故、破損の原因となります。
うつ伏せに寝た状態での背上げ操作は
関節を逆に曲げることになり、ケガの原因に
なります。

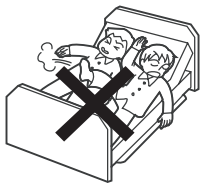


⚠ 注 意 以下の項目は、全て危険行為ですので必ず注意事項を守って下さい。守らなければ人がケガを負う可能性や物品的損害の発生が想定されます。

●ハイローギャッチストレッチャーを二人以上で使用しない

注　意

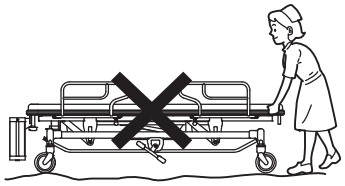
事故、破損の原因となります。
このハイローギャッチストレッチャーの最大使用者体重は
1350N(135kg)です。



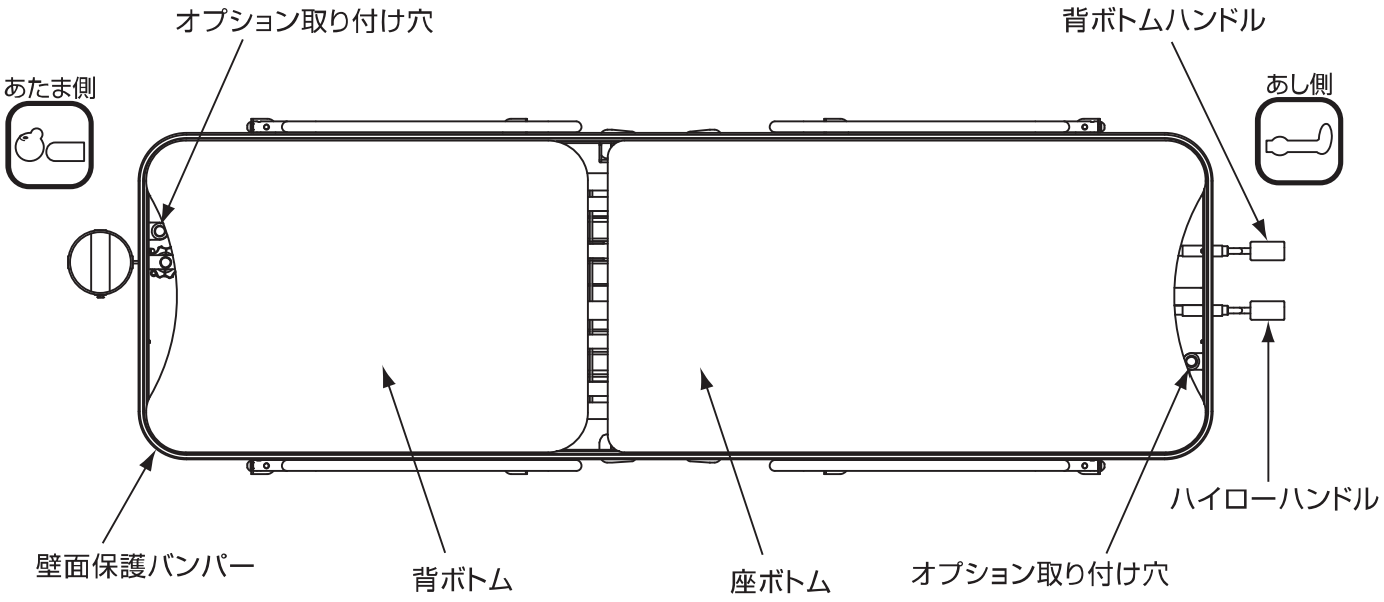
●不安定な路面での移動はさける

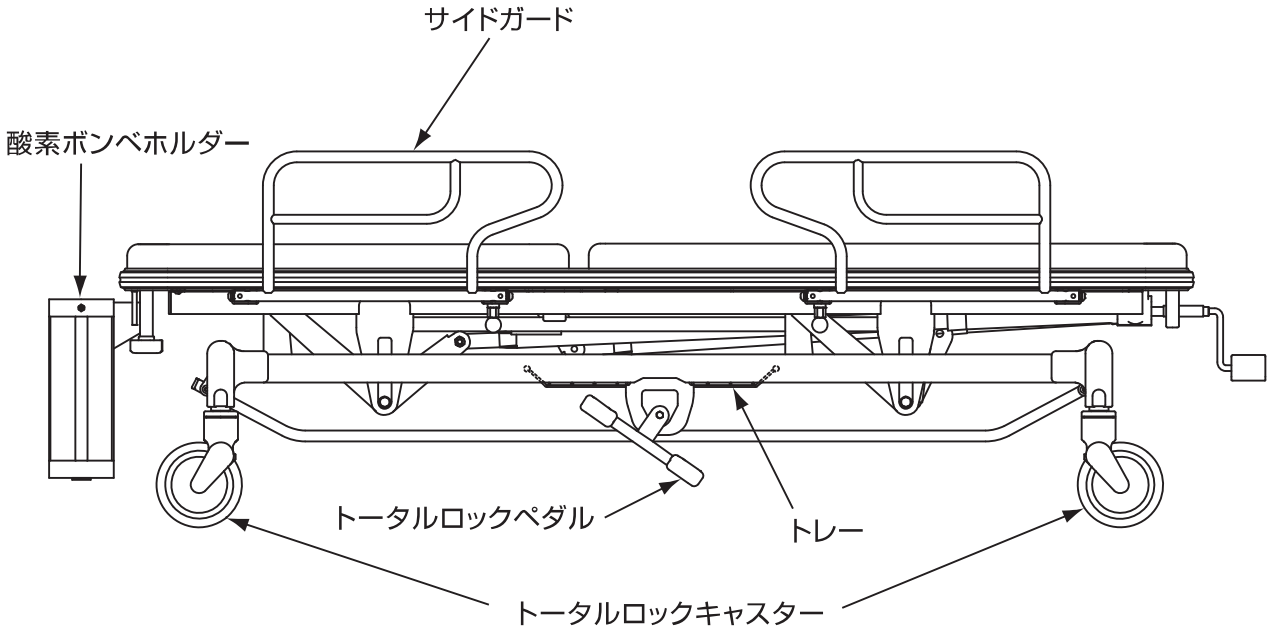
注　意

事故、破損の原因となります。
凹凸の激しい路面や、段差の大きな路面での移動は
できるだけ行わないでください。
もしそのような場所で移動される場合は、ゆっくり
移動させてください。



各部の名称


オプション取り付け穴
背ボトムハンドル
あたま側
あし側
ハイローハンドル
壁面保護バンパー
背ボトム
座ボトム
オプション取り付け穴

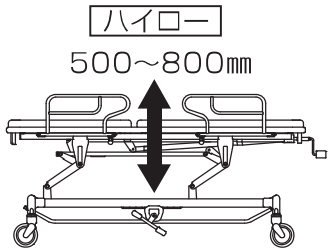

サイドガード
酸素ボンベホルダー
トータルロックペダル
トレー
トータルロックキャスター

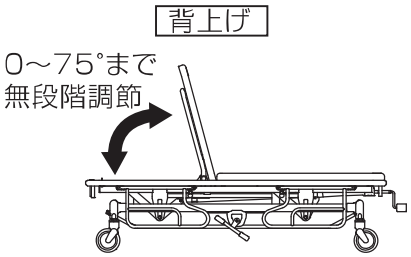
操作(動作)のしかた

■クランクハンドルについて

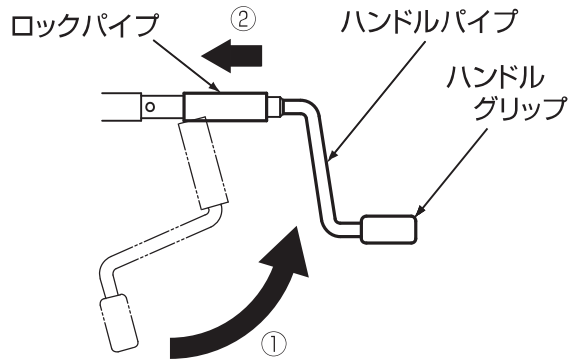
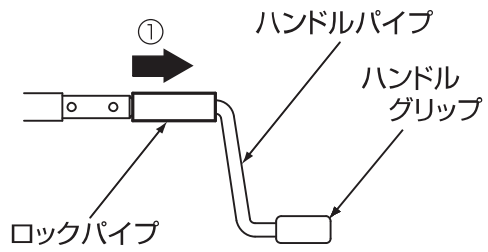
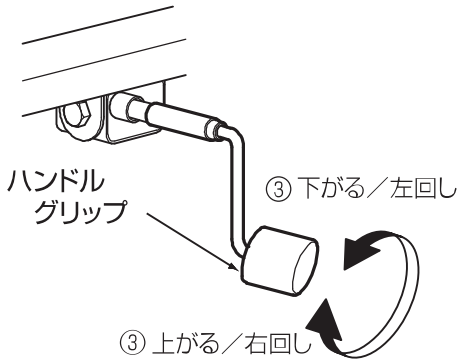
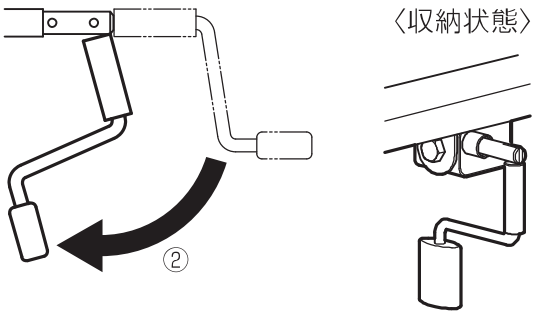
ハイローハンドル操作により、ゆかからボトムの高さを500～800㎜の間で調節できます。
また、背ボトムハンドル操作により、背ボトムの角度を0～75°の間で調節できます。

●ハンドルは折りたたんでコンパクトに収納できます。
収納時はベッド移動やベッド周りでの治療作業の妨げになることはありません。





●クランクハンドルの使用方法

使用するとき	収納するとき
①ハンドルパイプを手で握り、上に引き上げます。 ②上に引き上げますとロックパイプが自動的にロックし、ハンドルの操作をすることができます。	①ロックパイプを矢印の方向に引きます。
	
③ハンドルグリップを右に回すと上がり、左に回すと下がります。	②ロックパイプを引いたまま、ハンドルグリップを矢印の方向に倒すと収納できます。
	

事故、破損、ケガをします。

警　告

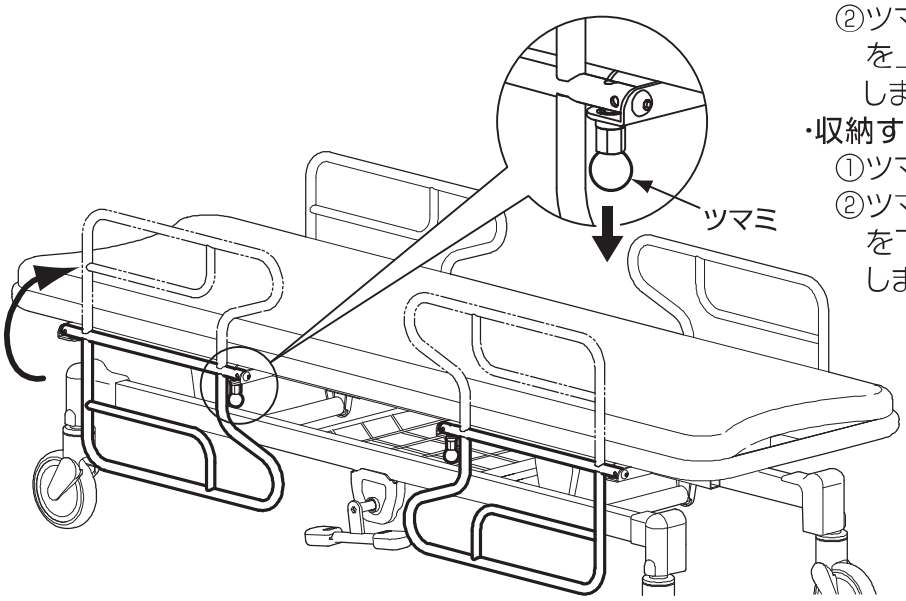
●足を引っ掛けたり転倒の可能性があるので、使用後は必ずハンドルを収納してください。

●ハイロー、背ボトムが上がりきる、また下がりきるとそれ以上回転しませんので無理に回さないでください。

●クランクハンドル使用時は、必ずキャスターをロックして下さい。使用中にハイローギャッチストレッチャーが動き、ケガや思わぬ事故の原因となります。

サイドガードの使用方法

ハイローギャッチストレッチャー本体の左右に、搬送時などの転落事故を防止するサイドガードを備えています。
ワンタッチ操作で簡単に上げ下げができます。



●サイドガードの使用方法

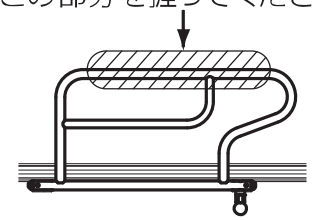
・使用するとき

①ツマミを下に引きロックを外します。
②ツマミを引いたまま、サイドガードを上に回転しツマミを放してロックします。

・収納するとき

①ツマミを下に引きロックを外します。
②ツマミを引いたまま、サイドガードを下に回転しツマミを放してロックします。

サイドガードを回転するときはこの部分を握ってください。



警告

●サイドガードを持っての移動は避けて下さい。
●サイドガードを使用する際には、手や足などを挟まないように注意して下さい。
●サイドガードに寄りかかったり無理な荷重をかけないで下さい。

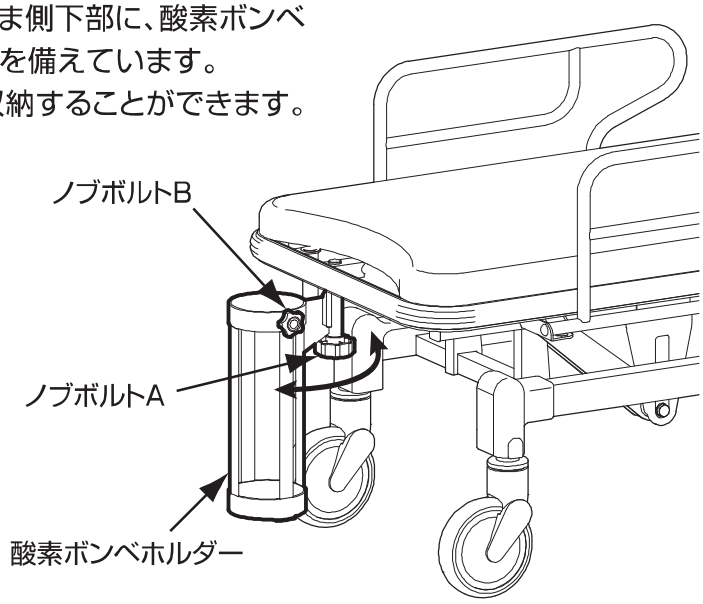
酸素ボンベホルダーの使用方法

ハイローギャッチストレッチャーのあたま側下部に、酸素ボンベ500Lを縦方向に装着できるホルダーを備えています。
未使用時には本体下部に回転させて収納することができます。

●酸素ボンベホルダーの使用方法

①ノブボルトAをゆるめて、酸素ボンベホルダーを酸素ボンベが差し込める位置まで回転させます。位置が決まったらノブボルトAをしっかりと締めてください。

②酸素ボンベを上からゆっくりと差し込んだら、ノブボルトBをしっかりと締めて、酸素ボンベを固定してください。



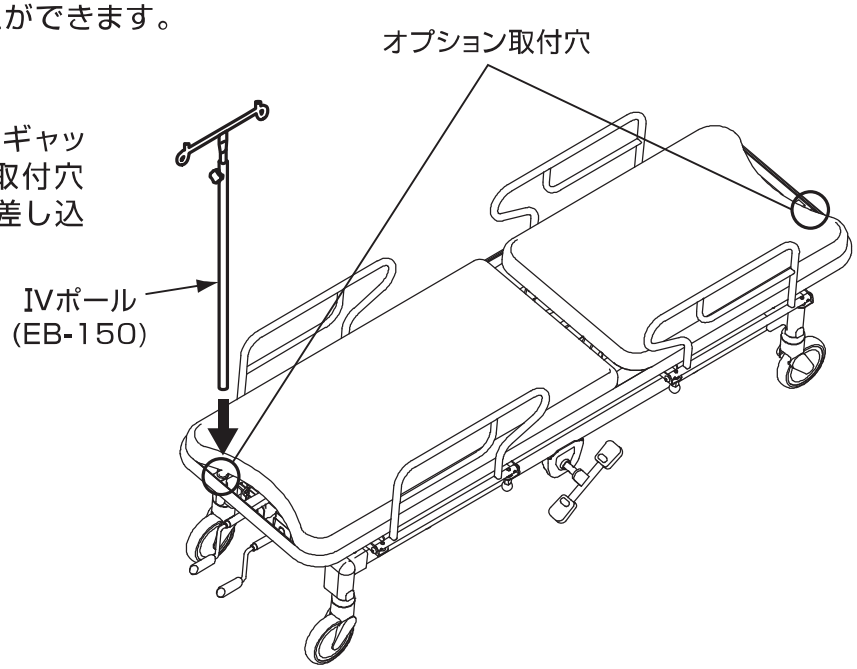
警告

●ノブボルトはゆるまないようにしっかりと締めてください。
移動中に抜けると大変危険です。

IVポールの取り付け

ハイローギャッチストレッチャー本体のオプション取付け穴に、
IVポール(別売り)を取付けることができます。

●IVポール(別売り)はハイローギャッチストレッチャーのオプション取付穴(2ヶ所)に、しっかりと奥まで差し込んで使用して下さい。



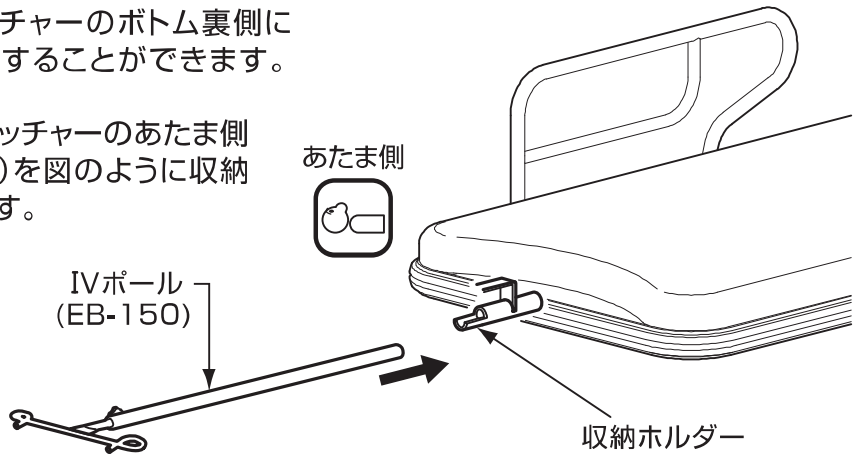
警　告

●IVポールを差し込んだ状態でIVポールを持っての移動は避けて下さい。

IVポールの収納方法

ハイローギャッチストレッチャーのボトム裏側に
IVポール(別売り)を収納することができます。

●ハイローギャッチストレッチャーのあたま側からIVポール(別売り)を図のように収納ホルダーに差し込みます。



警　告

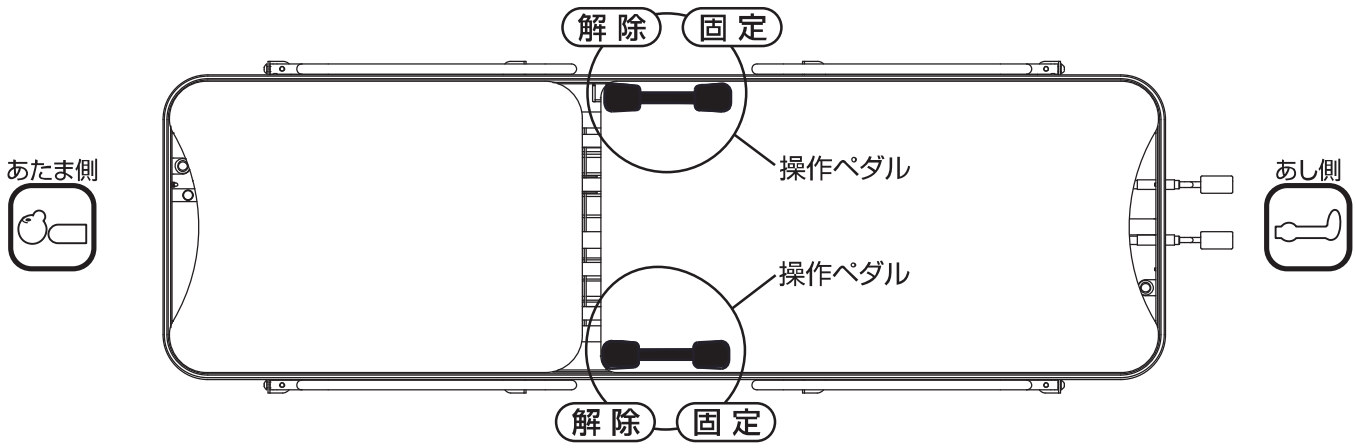
●IVポールを収納するときは必ず奥まで差し込んでください。
ハイローギャッチストレッチャー本体より飛び出していると、衣服などに引っかかり大変危険です。

トータルロックキャスターについて

■トータルロックキャスターの位置

●トータルロックキャスターの操作ペダルはハイローギャッチストレッチャーの両側に1ヶ所づつあります。

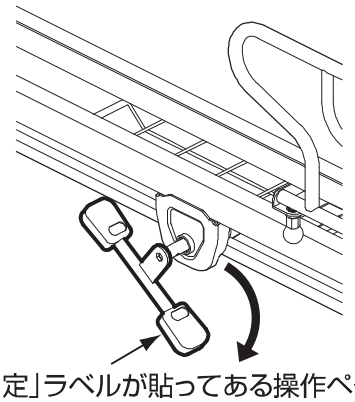
ハイローギャッチストレッチャーを上から見た略図



■トータルロックキャスターの操作方法

●トータルロックを固定する

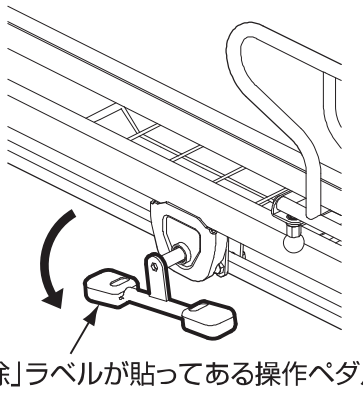
「固定」ラベルが貼ってある操作ペダルを足で矢印方向に踏みおろします。
キャスター4輪とも同時に首振り旋回とタイヤの回転が固定されます。



「固定」ラベルが貼ってある操作ペダル

●トータルロックを解除する

「解除」ラベルが貼ってある操作ペダルを足で矢印方向に踏みおろします。
キャスター4輪とも同時に首振り旋回とタイヤの回転の固定が解除されます。



「解除」ラベルが貼ってある操作ペダル

事故、破損、ケガをします。

警告

●移動する際は必ずペダルが解除の位置であることを確認してください。
●ハイローギャッチストレッチャーを設置する際にはキャスターを固定してください。
●ハイローギャッチストレッチャーを移動する際、大きな段差や凹凸の激しい路面および廊下での移動は行わないでください。
万一そのような場所で移動される際は、ゆっくりと移動してください。

日常のお手入れ

感電注意

事故、破損、ケガをします。

●事故を防止するため、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

●拭き掃除をする場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞って行ってください。

●その後、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

●洗浄液を使用する場合は下記の薬品を指定の濃度に薄めてご使用ください。

塩化ベンザルコニウム液(オスバン)	0.05%～0.2%
塩化ベンゼトニウム液(ハイアミン)	0.05%～0.2%
クロルヘキシジン液(ヒビデン)	0.05%

注　意

必ず水で薄めた中性洗剤を使うこと。

●揮発性のもの(シンナー、アルコール、ベンジン、アセトン、クレゾール)などは絶対に使用しないこと。本体が変色したり、塗装がはげたりします。

故障かな?と思ったら

●故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしてください。
それでも直らない場合は、ハイローギャッチストレッチャーの使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。

症　状	チェック	処　置
ハイローギャッチストレッチャーの移動が出来ない	キャスターがロックされていませんか?	キャスターのロックを解除してください。
クランクハンドルを回してもボトムが昇降しない	ハイローギャッチストレッチャー周辺、稼動部に障害物がありませんか?	障害物を取り除いてください。

■仕　様

	品　　名	ハイローギャッチストレッチャー
	品　　番	SS-542TM
寸法	全　　長	1900㎜(酸素ボンベホルダー収納時) 2020㎜(酸素ボンベホルダー使用時)
	全　　幅	630㎜
	ボトム長さ	1870㎜
	ボトム幅	550㎜
	高　　さ	500～800㎜(ゆかからボトム面までの高さ)
	キャスター	トータルロックキャスター　車輪径150㎜単輪キャスター
材質	メインフレームの材質と表面処理	鋼鈑および鋼管　抗菌粉体塗装
	ボトムの材質と表面材料	合板およびウレタンフォーム ビニールレザーシート
	壁面保護バンパーの材質	軟質材
背上げ	駆動方式	手動クランクハンドル
	背上げ角度	0～75度 無段階
ハイロー	駆動方式	手動クランクハンドル
	調節量	約300㎜
最大使用者体重/安全使用荷重		135kg(1350N)／1700N(170kg)

アフターサービスについて

1.保証書

このハイローギャッチストレッチャーには保証書を添付しています。「販売店・購入日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2.修理を依頼されるとき

故障した際は、お買い上げ販売店もしくはメーカーまでご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- ●品名、品番
- ●お買い上げ日
- ●故障・異常の内容(できるだけ詳しく)
- ●病院・施設名、お名前、ご住所、電話番号

■修理を依頼される前に

サービスを依頼される前に、今一度この取扱説明書をよくお読みください。それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店もしくはメーカーにご相談ください。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは、下記の保証書をご覧ください。

3.アフターサービスについてご不明な点

お買い上げの販売店もしくはメーカーまでお問い合わせください。

修理・お取り扱いお手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店、
レンタル取次店へお申し付けください。

カスタマーサポートお問い合わせ窓口

フリーコール **0120-20-1001**

シーホネンス株式会社

営 業 本 部
〒577-0067　大阪府東大阪市高井田西5-1-30　TEL 06-6784-0971
© 2006　SEAHONENCE INC.（シーホネンス株式会社）All Rights Reserved.